

# のびやかに ばらんすよく 生きる力を育てます

知：生きてはたらく力 徳：豊かな心 体：健やかな体 公：公共心と社会参画 開：未来を開く志

学校概要	創立 46 周年	学校長 湊 浩一	副校長 石月 努実	2 学期制	一般学級： 6	個別支援学級： 2
	児童生徒数： 149 人	主な関係校：丸山台中学校・丸山台小学校・下野庭小学校・野庭すずかけ小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	野庭丸山台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自己実現を目指し、自分らしく生きる力 ↑ 自己有用感	野庭中学校 丸山台中学校 丸山台小学校 下野庭小学校 野庭すずかけ小学校	○いつでも元気よく挨拶できる子ども ○自分も仲間も大切にできる子ども ○すすんで学習相とする子ども  ○小中の連携を深め、授業力の向上を目指して ・授業参観および研究協議の機会を年4回設定します。 ・担当者会議を年5回設定します。 ・小中職員が一堂に会する合同研修を年1回設定します。 ※来年度、円滑に1中3小ブロックへ移行できるよう支援・活動します。

中期取組目標	生徒→ <u>あ(挨拶)・せ(清掃)・か(感謝)・け(けじめ)</u> ←教職員
	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>①自分にふさわしい進路選択ができる学力を授業で身につけさせます。 ②豊かな人間関係を構築できるコミュニケーション力を育てます。 ③発達に応じて心身の健康を自分でコントロールできる力を育成します。</p>

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b>	①信頼関係をベースに学習規律を確立し、基礎・基本の定着を図り、学力向上を目指します。 ②「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」を授業改善の視点にすえ、「分かるから楽しい授業」づくりに努め、「知識・技能」、「思考力、判断力、表現力」を育てます。
担当 学習指導部	
<b>豊かな心</b>	①「道徳」を核に、自他を大切にし、自分を律し、人を思いやれる、しなやかな心の育成を目指します。 ②特別活動や学校行事を通して、互いのよさや可能性を発揮し、認め合い、合意形成を図ることで、よりよい人間関係を形成しようとする態度を育てます。
担当 人権教育推進委員会	
<b>健やかな体</b>	①新体力テストの結果から課題を明確化し、生徒一人ひとりに応じた体力向上を目指します。 ②自己の生活上の課題に気づき、生活を改善するための計画を考え、結果が出せるよう粘り強く取り組む態度を育てます。
担当 保健体育科	
<b>生徒指導</b>	①学校スローガン『あ(挨拶)・せ(清掃)・か(感謝)・け(けじめ)』を生活規律の土台に、あたりまえのことがあたりまえにできる生徒の育成を目指します。 ②教育相談活動を充実させ、生徒の向上心や自浄能力を引き出す指導に取り組みます。
担当 生徒指導部	
<b>保護者・地域住民との連携</b>	①地域の学校として、保護者や地域住民と協働して、開かれた学校を目指します。 ②学校だよりや学校HPを活用して、教育活動の情報公開に努めるとともに、生徒の地域行事への参画を促し、地域に貢献しようとする態度を育てます。
担当 課題検討委員会	
<b>キャリア教育</b>	①自らの進路に向かって、主体的に自己決定ができる生徒の育成を目指します。 ②自分自身を肯定的に見つめ、自己の夢に向かって前向きに取り組む態度を育てるとともに、1年次の職業講話、2年次3年次の職業体験を通して、正しい職業観を醸成します。
担当 総合学習担当	
<b>学校統合</b>	①野庭中学校にとっても、丸山台中学校にとっても、プラスとなる学校統合を目指します。 ②よりよい人間関係づくりに向けて、生徒が主体的に行動できる交流活動に取り組むとともに、学校統合を生きた教材として活用し、地域社会づくりに参画・貢献しようとする態度を育てます。
担当 統合担当	
<b>教育環境整備</b>	①プール清掃や教室のワックスがけ等は、学校配当予算を活用して業者委託とし、教職員の職務軽減に努めます。 ②閉校に向けて、計画的な資産管理に努め、保管替を実施し市の教育資産を再活用します。
担当 事務部	
<b>いじめへの対応</b>	①誰もが、安心して、安全かつ豊かな学校生活を送れる体制づくりを目指します。 ②生徒一人ひとりが、受け入れられていると実感できる受容的な環境を整えます。 ③早期発見・早期解決を目標に、全教職員が毅然とした姿勢でいじめ事案に対応します。
担当 全教職員	
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b>	①横浜型メンターチームを活用して、本校採用の教員の指導(授業)力向上を目指します。 ②月45時間・年360時間以内を目標に業務改善に取り組み、心身ともに健康な学校を目指します。 ③学校閉庁日・定時退勤日・長期休業を活用して、弾力的な勤務体制を構築するとともに、部活動休養日(平日52日、土日52日)を計画的に年間で運用します。
担当 副校長	